

# 第19回 印刷産業環境優良工場表彰について

『2020年度 第19回 印刷産業環境優良工場表彰』は、2019年11月から第1次の募集を開始し、2020年9月に開催する「2020年 印刷の月 記念式典」で表彰を行う予定にしておりましたが、新型コロナウイルスの影響で上位賞に該当する工場に対して行う現地審査を、当初の予定通り実施することが出来ず、2020年度中の表彰は見送りとなりました。

今回受賞が決定した10社については、2021年9月に開催する「2021年 印刷の月 記念式典」で表彰を行う予定にしております。

第19回 印刷産業環境優良工場表彰の表彰式が当初行う予定であった2020年9月から、2021年9月に1年間延期になったことに伴い、2021年度は新たな募集は行わず、今後の応募拡大やレベルアップに向けた活動を行う予定です。

第20回の募集については、『2022年度 第20回 印刷産業環境優良工場表彰』として、2021年11月頃より募集を開始する予定にしております。

## 総 評

第19回を迎えた印刷産業環境優良工場表彰は、一般部門、小規模事業所部門合計65工場からの応募があった。今回は過去に局長賞・会長賞を受賞した9工場から応募があり、レベルの高い内容が期待されたが、新型コロナウイルスの影響で現地審査を約5か月延期せざるを得ないなど、応募から現地審査の期間が長く、その間も各社が新型コロナウイルスの対応に追われ、上位賞候補の内2社が審査を辞退することとなり、厳しい状況の中で昨年につき経済産業大臣賞は該当工場無しとなった。

受賞工場の特徴として、環境問題への取組に対する社会の関心が高まる中、「地球温暖

化防止」に寄与する「再生可能エネルギーの採用」「各種の省エネの取組」や、「大気汚染防止」を考慮した「VOC排出抑制施策」「環境に配慮した資材の採用」を実施する他、工場周辺的环境に配慮した活動を進めるなど、トップの方針を従業員と一体となって実践し、また自社の活動を積極的に発信することで、社外からの評価も取り入れ、より高いレベルの活動に進もうとしている姿が窺える。

その他の会社も廃棄物の削減、GP認定品の採用や地域の環境問題への参画など、自主的な取り組みが機能して成果を上げており、今後も水平展開できるモデル事例としての活用が望まれる。

一般部門

株式会社 光陽社 飯能プリンティングセンター BASE

代表者名	代表取締役 犬養 岬太
工場所在地	埼玉県飯能市
所属団体	日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会



推薦理由

本工場は、2015年9月に操業を開始した、埼玉県飯能市の準工業地域にある、ポスター・カタログや店頭POPを製造する正規従業員52名の工場である。今回初めての応募であるが、移転前の2013年に旧高島平工場で「会長賞」を受賞しており、会社として環境活動のしつこさが定着している。GP認定工場を取得しており、環境問題への取組として「地球温暖化防止」「大気汚染防止」「産業廃棄物・特別管理廃棄物の削減」「リサイクルの推進」「持続可能な資源の利用促進」を掲げ、それぞれ目標を設定し、3か月ごとの環境委員会で評価し、PDCAのサイクルを回している。従業員の健康管理を経営方針の重要事項と位置付けた活動が行われており、また外国人労働者の受け入れとそれに対する配慮もなされておりトップから第一線の従業員まで工場が一体となって取り組んでいることは評価に値する。

これらのことから総合的に判断して、経済産業省商務情報政策局長賞に推薦するものである。

小規模事業所部門

株式会社 大川印刷

代表者名	代表取締役社長 大川 哲郎
工場所在地	神奈川県横浜市
所属団体	全日本印刷工業組合連合会



推薦理由

本工場は、1973年7月に操業を開始した、横浜市の工業地域にある、医薬品添付文書・食品包装紙や一般商業印刷物を製造する正規従業員18名の工場である。小規模工場であるが、社長から一般社員まで環境に対する高い理念を共有し、SDGsを前面に打ち出した環境活動を展開している。FSC認証用紙の利用促進、ノンVOCインキ採用率96%など材料面の環境配慮から、2019年には再生可能エネルギー100%を達成しており、ゼロエミッションプロジェクトの推進等、他社の模範となる先進的な取組が行われており、成果も上げている。ホームページ上でのCO<sub>2</sub>排出削減量のリアルタイム表示、SCOPE3の勉強会やオープンファクトリーの実施など、一般向けの情報発信も積極的に行っている。

これらのことから総合的に判断して、経済産業省商務情報政策局長賞に推薦するものである。

同社は2018年の「第2回 ジャパンSDGsアワード」で「パートナーシップ賞」を受賞している。

## 一般部門

### 河北印刷株式会社 本社工場

**代表者名** 代表取締役 中條 遥  
**工場所在地** 京都府京都市  
**所属団体** 全日本印刷工業組合連合会



#### 推薦理由

本工場は、1993年3月に操業を開始した京都市南区にある、手帳、年史・社史、パンフレット、ポスター等を製造する正規従業員48名の工場である。ISO14001を取得し、ISOをベースとしたマネジメントサイクルが運用されており、データの取得とそれに基づいた目標設定並びに評価を行うことで、電力・ガスの使用量削減や、廃棄物の削減、PRTR対象物質の取扱い半減等、数値的な効果も表れており、「京都市産廃処理3R優良事業所」は3年連続で認定されている。行政とのコミュニケーションもしっかり取られており、工場周辺対策を含めた環境への取組を効率よく実施している。

これらの活動から、一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞に推薦するものである。

### 株式会社 平野屋物産

**代表者名** 代表取締役社長 母里 圭太郎  
**工場所在地** 福岡県うきは市  
**所属団体** 全国グラビア協同組合連合会



#### 推薦理由

本工場は、2014年1月に操業を開始した、福岡県うきは市にある食料品向けの軟包装資材を製造する正規従業員27名の工場である。比較的新しい工場であり、ハード面での対応は一定以上のレベルで、2019年に排ガス処理装置を導入するなどのVOC排出抑制や、省エネ対策としての燃料転換、廃熱利用、LED化等、環境負荷の高いグラビア工場として、積極的に環境対策を行っている。またメーカーとの勉強会の実施や、工場周辺の清掃、産業祭への参加など、ステークホルダーや地域社会への取組も着実に進められている。

その活動は意欲的・積極的であり、一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞に推薦するものである。

## 小規模事業所部門

### 株式会社 九州クラフト工業

**代表者名** 代表取締役 坂本 研一  
**工場所在地** 熊本県熊本市  
**所属団体** 全日本シール印刷協同組合連合会  
 全日本印刷工業組合連合会



#### 推薦理由

本工場は、1988年2月に操業を開始した、熊本市の工業地域にある、シール・ラベルを製造する正規従業員24名の工場である。GP認定工場の取得、全印工連の環境推進工場並びにCSR認定を受けており小規模事業所でありながら専門部署として環境推進部を設定し、「産業廃棄物の管理・削減」「省エネ」「職場環境の整備」他をテーマとして活動を進めている。各指標を数値化して目標を掲げ、それを小集団活動で実施し、月次のCSR委員会でフォローし、今後の活動に生かしており、トップマネジメントによるPDCAのサイクルが機能し活動が継続的に行われていることが窺える。

これらの活動から、一般社団法人日本印刷産業連合会会長賞に推薦するものである。

## 推薦理由

本5工場は、環境優良に努力を払うとともに改善が認められ、特にその活動に特色があることから、その業種の特殊性や企業規模を鑑み、今後のさらなる環境改善を期待し、一般社団法人日本印刷産業連合会環境優良工場奨励賞に推薦するものである。

## 一般部門

### 佐川印刷株式会社 松山第一工場

代表者名	代表取締役社長 佐川 正純
工場所在地	愛媛県松山市
所属団体	全日本印刷工業組合連合会 全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会



### 株式会社 金沢シール

代表者名	代表取締役 小杉 善文
工場所在地	石川県白山市
所属団体	全日本シール印刷協同組合連合会 全日本印刷工業組合連合会



### 株式会社 昇寿堂 深川工場

代表者名	代表取締役会長 瀬戸 良教
工場所在地	東京都江東区
所属団体	日本フォーム印刷工業連合会 全日本印刷工業組合連合会



## 小規模事業所部門

### 有限会社 皆川製本所

代表者名	代表取締役 皆川 一昭
工場所在地	東京都足立区
所属団体	全日本製本工業組合連合会



### 株式会社デカルジャパン 本社工場

代表者名	代表取締役社長 尾島 剛
工場所在地	東京都八王子市
所属団体	全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会

